

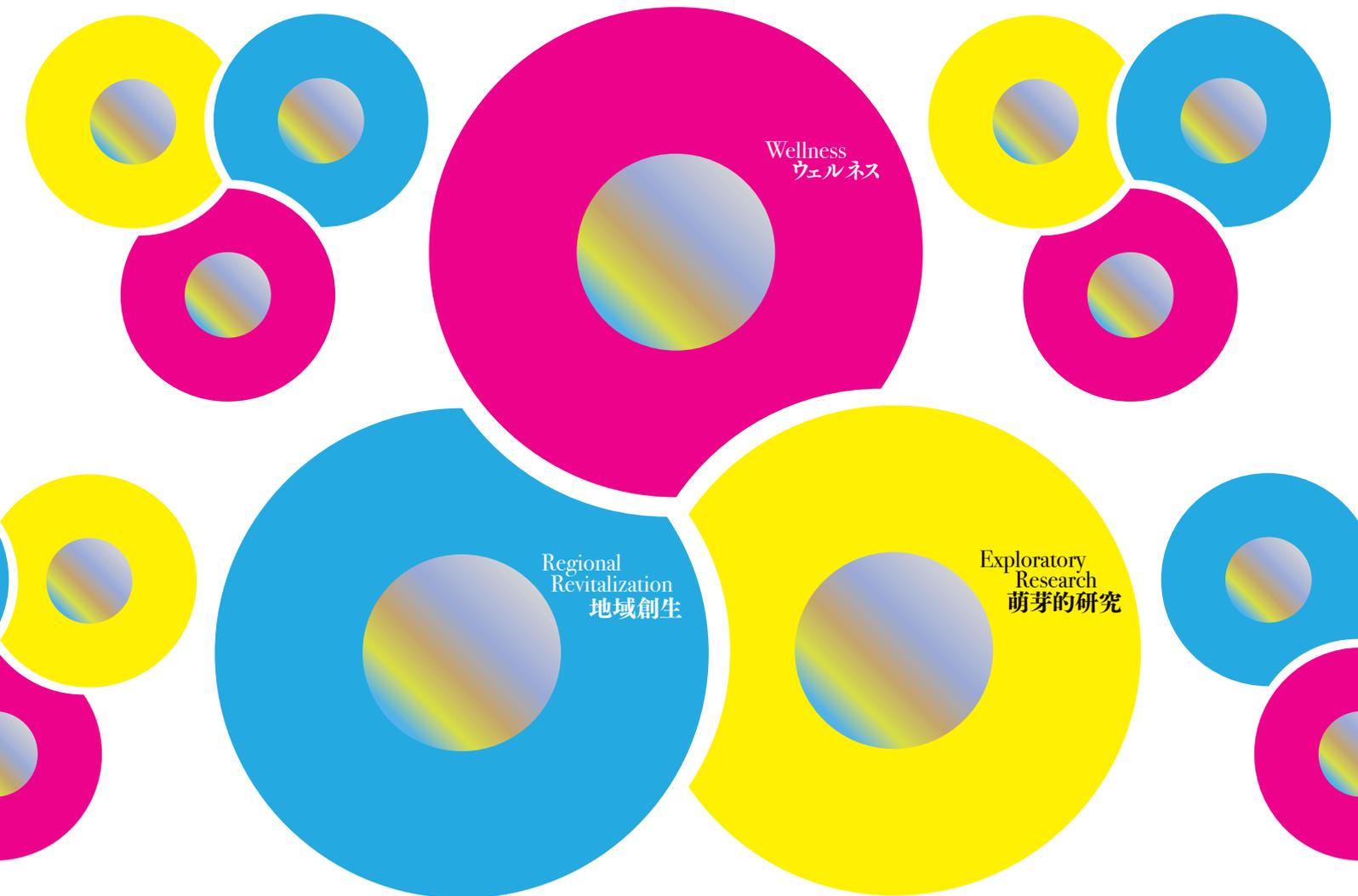
SCU産学官研究交流会

2015年11月25日(水) | 15:00~18:05 研究交流会・ポスター展示
18:15~19:30 情報交換会

人間重視と地域社会への貢献を理念に掲げている札幌市立大学では、デザインと看護の分野の特色を活かした研究成果を生み出しています。これまでにない視点の研究成果を紹介することによって、産学官の連携強化のみならず、新規産業の創出支援や製品化へのマッチングをすることを目的として、産学官研究交流会を開催します。5回目を迎える今年のテーマは「ウェルネス」、「地域創生」、「萌芽的研究」。学内のみならず学外からも発表者を招き、双方向の交流を目指します。ポスター展示、情報交換会も開催いたしますので、ぜひご参加ください。

会場／研究交流会・ポスター展示:ACU大研修室1614 | 対象／産学官連携に関心がある企業・行政等の関係者、技術者、研究者など
情報交換会:ACU多目的ラウンジ
(札幌市中央区北4西5アスティ45 16F)

参加費／研究交流会:無料 情報交換会:2,000円(当日会場にて申し受けます)



第一部「ウェルネス」

15:10~15:20

口腔ケアシミュレーションモデルの開発

三谷 篤史
札幌市立大学デザイン学部 講師

高齢化に伴い口腔ケアの重要性が注目されている。本研究では、看護教育において適切な口腔ケア訓練用シミュレータを開発する。ここではプロトタイプを開発し、効果的な学習を促進するためのソフトウェアを検討した。

15:20~15:30

注射器先端に接触することなく注射針を外せる容器の製作

田中 広美
札幌市立大学看護学部 講師

注射は準備の段階から安全で確実な手技が求められ、針刺し事故防止のため注射針へのリキャップを禁止している。しかし、現状として準備の際に注射針にリキャップを行っている医療者は少ない。この行為に着目し注射針を外す容器の製作に取り組んだ。

15:30~15:40

北海道医療福祉産業研究会の活動について

千葉 武雄
株式会社白石コム製作所代表取締役会長

近年高齢社会に於ける課題と解決の対策を求め、北海道・札幌市などが地域における「ウェルネス」に係るニーズ・シーズ並びに実態調査に向け準備を進めている。北海道は医療器具はもとより福祉用具等の開発・製造についても遅れている感がある。私共北海道医療福祉産業研究会では各大学・公設試・企業が一丸となり、現場の課題解決を各自の知識・技術を持ち寄り、定例会議、専門分科会などで勉強・研究を実施し社会貢献及びビジネスを目指します。

15:40~15:50

高齢者の入浴を見守るセンサーシステムの開発

栗野 晃希
北海道道立総合研究機構
産業技術研究本部ものづくり支援センター
工業技術支援グループ研究主任

入浴中の体調異常による高齢者の死亡事故防止が課題となっている。そこで入浴中の呼吸や心拍をセンサーでモニタし体調異常が発生した場合、いち早く排水弁や警報機を動作させる見守りシステムを開発した。

15:50~16:10 シンポジウム

第二部「地域創生」

16:20~16:30

人口減少の緩和に向けて
～さっぽろ未来創生プランの策定～

沖本 佳祐
札幌市市長政策室政策企画課 企画課長

ここ数年のうちに人口減少が始まることが見込まれている札幌市では、このまちを次世代に良好な形で引き継いでいくため、人口の将来展望や、今後5カ年の基本目標、施策等を示す新たな計画を策定しますので、その概要を報告します。

16:30~16:40

授業を通しての地域連携活動の事例紹介
「当麻かたるべの森」：木工製品のデザイン提案

小宮 加容子
札幌市立大学デザイン学部 講師

2015年前期にある2年生の授業課題として、北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場と社会福祉法人当麻かたるべの森と連携し、かたるべの森で制作・販売する木工製品の提案に取り組んだ。その活動報告をする。

16:40~16:50

産学官連携による北海道発EV研究開発・
利用活用プロジェクトについて

根本 英希
株式会社Will-E 代表取締役

道内中小企業8社と中小企業基盤整備機構、北海道立総合研究機構との産学官で、寒冷地向け電気自動車を開発し「2016年札幌モーターショー」に出展する。この開発で目指す「北海道内製造業の新たなものづくり基盤」の取組みを紹介する。

16:50~17:10 シンポジウム

第三部「萌芽的研究」

17:20~17:28

多世代型まちづくりコミュニティモデルの特徴分析

藪谷 祐介
札幌市立大学デザイン学研究科博士後期課程

多世代で構成されたまちづくりコミュニティに着目し、構成メンバーのパーソナリティやモチベーションとコミュニティのなかでの役割との関係を分析することで、コミュニティモデルの特徴を示すことを目的とした研究の経過報告を行います。

17:28~17:36

環境音のための音響特徴量シグネチャの開発とその応用可能性

須之内 元洋
札幌市立大学デザイン学部 助教

コンピュータによる音の認識や分類、検索のためには、対象とする音響信号から、人間の聴覚にとって重要な特徴を効率よく抽出することが大きな技術的課題となる。我々が開発した、環境音を扱うのに適した音響特徴量を紹介します。様々な分野への応用可能性を示す。

17:36~17:44

パーキンソン病患者の介護者への支援
～身体的負担の軽減に向けて～

小田嶋 裕輝
札幌市立大学看護学部 助教

国内外におけるパーキンソン病患者の介護者の負担に焦点を当てた文献を整理し、今後、介護者を支援する上での課題を明らかにすることを目的とした。

17:44~17:59 シンポジウム

2015年度SCU産学官研究交流会 参加申込書

氏名	ふりがな	-----	
貴社(団体)名	ふりがな	-----	
部署・役職			
TEL			
e-mail			
研究交流会	参加 不参加	情報交換会	参加 不参加

11月25日(水)開催のSCU産学官研究交流会に申し込みます。

※この申込書は札幌市立大学のホームページからもダウンロードできます。
www.scu.ac.jp/crc/kouza/

研究交流会のみ、もしくは情報交換会のみへの参加も歓迎いたします。
お申込み期間：10月10日(土)～11月13日(金)

お申込み・お問合せ

札幌市立大学サテライトキャンパス
札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 12階
TEL.011-218-7500 FAX.011-218-7507 E-mail.koza@acu-h.jp